学校番号	3033

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	(学)数学講究Ｓ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「新課程　数学Ⅲ」（数研出版）						
副教材等	問題集「2026 スタンダード数学演習ＩⅡＡＢＣ受験編」（数研出版） 問題集「新課程　オリジナル・スタンダード数学演習Ⅲ・Ｃ受験編」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「数学ＩⅡⅢＡＢＣ」の入試問題集を取扱います。何せ入試問題ばかりです，難度が高いと感じることでしょう。ただ大事にしてほしいことは，それまでやってきた基礎部分（公式や計算手順などを指します。）を決して疎かにしないことです。問題ごとに，「どのような基礎事項を理解し，使えるようにすべきか」を意識して取り組んでください。皆さんがこれまでの学習で培ってきたものを最大限発揮することができると，皆さんの中で数学に対する違った世界が見えてくることでしょう。それがそのまま入試へと繋がります。
この授業を通じ，数学の奥深さを楽しんでもらえることを期待しています。

2　学習の到達目標

数学ＩⅡⅢＡＢＣ分野の既習事項の学習、および分野を横断した種々の入試問題演習を通して以下の資質・能力を身につける。
【知識及び技能】
a:基礎的な知識の確固たる定着と，知識を発展的内容につなげる技能の習熟。
【思考力、判断力、表現力等】
b:数学的に抽象化された事象を考察し，自在に表現する能力。
【学びに向かう力、人間性等】
c:数学的対象に興味関心をもち、自らの力によって積極的に活用する態度。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して，数学ＩⅡⅢＡＢＣの既習事項に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。	数学的活動を通して，数学ＩⅡⅢＡＢＣの既習事項における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察し，表現するとともに，過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数学的活動を通して，数学ＩⅡⅢＡＢＣの既習事項において，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	演習形式	既習範囲（数学ⅠⅡⅢＡＢＣ）から横断的に演習する。 具体的には以下の分野を総合して学習する。（数と式，集合と命題，２次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質，数学と人間の活動，方程式・式と証明，複素数と方程式，図形と方程式，三角関数，指数関数と対数関数，微分法と積分法，数列，統計的な推測，極限，ベクトル，複素数平面，式と曲線）	a: 既習事項に関する基本的な概念を理解し，知識を身につけている。 b: 事象を既習事項を用いて考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c:既習事項に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート等の提出物
後期						

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度